

やはり心の問題

猛暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

先日、ある事業所で市長さんに直接、「いつもきれいにしてくれてありがとう。」といわれ、感激している当社の社員に会いました。当人の日頃の努力の成果とはいえ、改めて何気ない一言が随分と人をやる気にさせてるんだなあと感じ入った次第です。



専務取締役 吉田 治伸

振り返って見て、私たちの仕事が人を感動させていることはどれほどあるのでしょうか。我々の仕事の多くは程度の差こそあれ、最終的に人と接して評価をお受けする仕事です。イメージ的にはガソリンスタンドやレストランの接客と似てるといっても過言ではないでしょう。先日、レストランへ行き、水は出し忘れる、子供用のスプーンは出し忘れる、お願いしても「やればいいんだろ」という態度で対応するウェイターに会いました。料理が美味しかっただけに非常に残念でした。また逆にあまりに熱心で「頑張ってね」と声を掛けたくなるような人もいました。残念ながら両者の給料はほとんどかわらないかもしれませんが、しかし、何年か後には大きな差となって表れると思います

私の課題はいかに多くの社員にその気になってもらうか、いかに多くのお客様に感動を与えられるか、だと思っています。良いアイデアがあれば是非ご一報下さい。

まだまだ暑さは続きますが、皆様のご健勝をこころよりご祈願いたします。